

殺虫剤

第 16758 号

トレボン® 乳剤

種類名：エトフェンプロックス乳剤

- 特長**
- 速効的で長い残効性を持っています。
 - 野菜・果樹・花の多くの作物と害虫に使用できます。

【有効成分】 エトフェンプロックス (PRTR法第1種) ……………20.0%
 【その他PRTR】 エチルベンゼン (PRTR法第1種) ……………37%
 【該当成分】 キシレン (PRTR法第1種) ……………41%

【性状】 淡黄色澄明可乳化油状液体 【毒性】 普通物* 【危険物】 2石-Ⅲ
 【有効年限・包装】 5年・500mL×20、100mL×60

*普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

トレボンは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

適用病害虫・使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックス
稲		コブノメイガ	1000倍	60～150 L/10a (60～150 mL/m ²)	収穫14日前まで	3回以内		3回以内
		ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネドロオイムシ イナゴ類	1000～2000倍					
		カメムシ類 イネミズゾウムシ	2000倍					
		ウンカ類	300～600倍					
		ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	300倍					
		カメムシ類	600倍					
小麦		ヒメトビウンカ アブラムシ類	2000倍	60～150 L/10a (60～150 mL/m ²)		2回以内		2回以内
とうもろこし		アワノメイガ アワヨトウ	1000倍	100～300 L/10a (100～300 mL/m ²)	収穫7日前まで	4回以内		4回以内
かんきつ		コアオハナムグリ ケシキスイ類	1000～2000倍	200～700 L/10a (200～700 mL/m ²)	収穫14日前まで	3回以内		3回以内
		ミカンハモグリガ						
マンゴー		チャノキアザミウマ	1000倍		収穫7日前まで			
キャベツ		アオムシ、コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000～2000倍		収穫7日前まで			
はくさい		シロイチモジヨトウ			収穫21日前まで	2回以内		2回以内
だいこん		アブラムシ類			収穫14日前まで			
ねぎ		アブラムシ類 コナジラミ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ			収穫3日前まで	3回以内		3回以内
レタス		アブラムシ類 コナジラミ類	1000倍		収穫前日まで 収穫3日前まで	4回以内		4回以内
にがうり		アブラムシ類 コナジラミ類 ヨトウムシ類 カメムシ類 ウリノメイガ	1000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
		アブラムシ類 コナジラミ類						
かぼちゃ		コナジラミ類 ウリハムシ						
なす		アブラムシ類	1000～2000倍		収穫前日まで			
トマト		コナジラミ類				2回以内		2回以内
ピーマン		アブラムシ類				3回以内		3回以内
オクラ		アブラムシ類 カメムシ類				3回以内		3回以内
さやえんどう 実えんどう		シロイチモジヨトウ ヨトウムシ ウラナミシジミ	1000倍		収穫前日まで			
さやいんげん		ワタアブラムシ ウラナミシジミ マメノメイガ			収穫開始7日前まで			
えだまめ		マメシンクイガ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマハエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ウコンノメイガ ツメクサガ	1000～2000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
		ハスモンヨトウ						
未成熟ささげ ばれいしょ		アブラムシ類			収穫前日まで			
かんしょ		ナカジロシタバ アブラムシ類 ハスモンヨトウ	100～300 L/10a (100～300 mL/m ²)		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
		ハスモンヨトウ						
さといも		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ			収穫14日前まで 収穫7日前まで			
さといも (葉柄)		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ						
やまのいも やまのいも (むかご)		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ						
豆類 (種実、ただし、 だいず、あずきを 除く)		マメシンクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマハエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ アズキノメイガ	1000倍		収穫14日前まで	2回以内		散布
		アブラムシ類 コナジラミ類 ヨトウムシ類 カメムシ類 ウリノメイガ						
だいず		マメシンクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマハエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ アズキノメイガ ウコンノメイガ ツメクサガ	1000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
		アブラムシ類 コナジラミ類 ヨトウムシ類 カメムシ類 ウリノメイガ						
あずき		マメシンクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマハエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ ノメイガ類	1000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
		アブラムシ類 コナジラミ類 ヨトウムシ類 カメムシ類 ウリノメイガ						
しょうが		ハスモンヨトウ			収穫7日前まで			
葉しょうが		ハスモンヨトウ			収穫7日前まで			
てんさい		ヨトウムシ	1000～2000倍			3回以内		3回以内
モロヘイヤ		アザミウマ類	1000倍		収穫14日前まで	1回		1回
あしたば		アブラムシ類	2000倍			3回以内		3回以内
ふき		コナジラミ類 フキノメイガ ヨトウムシ				3回以内		3回以内
うど		アブラムシ類	1000倍		根株養成期 但し、 収穫45日前まで	2回以内		2回以内
					収穫21日前まで 但し、伏せ込み栽培 は伏せ込み前まで			
みつば		アブラムシ類			収穫21日前まで 但し、伏せ込み栽培 は伏せ込み前まで	2回以内		2回以内
せり	水田							
せり (水耕栽培)	ガラス室等の施設			100～150 L/10a (100～150 mL/m ²)	収穫30日前まで			
みずいも	水田	オキナワイナゴモドキ			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
茶		チャノホソガ チャノドリヒメヨコバイ チャノキアザミウマ	2000倍	200～400 L/10a (200～400 mL/m ²)	摘採21日前まで	2回以内		2回以内
たばこ		タバコガ ヨトウムシ	1000～2000倍	25～180 L/10a (25～180 mL/m ²)				
		アブラムシ類						
採種用とうき		キアゲハ	1000倍	100～300 L/10a (100～300 mL/m ²)				
樹木類 (つつじ類、 ポインセチア、 ソテツを除く)		ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍		幼虫発生期			
		オビカレハ	2000倍					
つつじ類		ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍					
		オビカレハ	2000倍					
ポインセチア		ツツジゲンバイ	2000倍	100～700 L/10a (100～700 mL/m ²)				
		ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍			幼虫発生期	6回以内	6回以内
ソテツ		オビカレハ	2000倍					
		ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍			幼虫発生期		
宿根かすみそう		シロイチモジヨトウ	1000倍					
りんどう		ヨトウムシ		100～300 L/10a (100～300 mL/m ²)				
きく カーネーション ゆり		アブラムシ類	2000倍		発生初期			
トルコギキョウ		ハスモンヨトウ	1000倍					
水田作物、 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、 ススキ、セイタ カアワダチソウ 等の多年生雑草 が優占している 休耕田	カメムシ類	2000倍	60～150 L/10a (60～150 mL/m ²)		3回以内		3回以内
きび		アカスジカスミカメ	1000倍	100～300 L/10a (100～300 mL/m ²)	収穫14日前まで			
あわ		アワヨトウ			収穫21日前まで			
ほうきぎ		ホウキギツツミノガ			収穫30日前まで	2回以内		2回以内

■については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

使用上の注意

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきることを。
- (2) 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- (3) 散布器具、作業衣等は桑用と必ず区別すること。
- (4) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ② 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (5) 本剤のかんきつ、茶等の散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意すること。
- (6) ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- (7) きくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけること。
- (8) 採種用とうきに使用する場合は、根及び葉を収穫せず、種子の収穫に限ること。
- (9) 水耕栽培に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理すること。
- (10) 本剤を本田の水田に対して希釈倍数300～600倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
 - (11) 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
 - (12) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- (5) 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをすること。
- (6) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用は避けること。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので、十分注意すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意すること。

貯蔵上の注意事項

火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。